

第Ⅴ期 渋谷川・古川流域連絡会議事録（第3回）

開催日時 平成24年12月19日（水） 13時30分～15時30分

開催場所 渋谷区商工会館/消費者センター

【議 事】

平成24年12月19日（水）13時半から、渋谷区商工会館/消費者センターにおいて第Ⅴ期渋谷川・古川流域連絡会（第3回）を開催しました。都民委員7名、行政委員19名が出席し、前回までの経緯及び前回議事録の確認、渋谷川上流部の河川環境整備並びに、中小河川における今後の整備のあり方について意見交換を行いました。

【配布資料】

資料-1	議事次第
資料-2	座席表
資料-3	流域連絡会委員名簿
資料-4	設置要綱（改訂）
資料-5	前回の会議内容について
資料-6	議事録について
7	渋谷川上流部の河川環境整備について
8	中小河川の今後の整備のあり方について

【意見交換】

（事務局）

第Ⅴ期第3回目の連絡会を開催させていただきます。

議事に入る前に配布資料の確認をさせていただきます。本日の配布資料は資料の1から資料の6、そして7と8です。

（事務局）

座長の選出ですが、昨年度先生に座長をお願いしてしまして、引き続きお願いしたいと思います。

（事務局）

副座長ですが、昨年第二建設事務所工事課長の「高橋」が異動になり、後任の「今宮」を、副座長にしたいと思います。

（座長）

本日の議題に入ります。

まず、議題の①開催の経緯と前回議事録であります。これはできるだけ簡単をお願いします。

（事務局）

渋谷川・古川流域連絡会設置要綱について変更があります。座長の職務、及び代理の項目で副座長の記載内容が無かったので、今回改めて第5、委員の互選により座長及び副座長を置くということと、副座長は、座長を補佐することを追加しました。

それから、資料の5はこれまでの経緯を一覧表でまとめています。

そして、資料の6、第Ⅴ期第1回目と第2回目の議事内容について確認頂いた後、ホームページにアップします。

（座長）

議題の①について、資料4の通りということで皆さんよろしいでしょうか。

（事務局）

それでは、中小河川の今後の整備のあり方ということで東京都の河川部の方お願いします。

（河川部）

東京都内の中小河川に於ける今後の整備のあり方ということで、大学の先生等の検討委員会の最終報告と都の整備方針について説明します。

今、東京都では時間50ミリの河川整備を進めており、実際時間50ミリを超える雨というのが非常に多くなってきています。

現在、50ミリの降雨の対応から区部では時間75ミリの降雨への対応、そして多摩部では時間65ミリ降雨への対応に引き上げるということにしています。

その整備の考え方ということで、一番目、時間50ミリ降雨を超える対策は調節池により対応していく。2番目は、広域調節池による調節機能の流域間相互融通です。3番目は、河川と下水道との連携により内水被害を軽減する

(座長)

整備水準を上げるという話と、総合的できめ細かな治水対策をするということですが、目標年次は入れてないのですね。

(河川部) 目標年次は概ね50年位というところですが、特にここでは明示はしていません。

(座長)

解りました。これは古川・渋谷川流域連絡会なので、古川と渋谷川との関係ではどこを見ればよろしいでしょうか。

(河川部)

平成19年に豪雨対策基本方針を東京都で定めていますが、7流域の中に渋谷川・古川も含まれているということです。

(渋谷区 行政委員)

今、渋谷区周辺の街づくりが進んでおります。近々、駅街区及び道玄坂、南街区の都市計画の提案をします。渋谷川が駅街区から南街区に流れており、地区計画、或いは事業者の説明会の中で50ミリ対応ということに対して、75ミリ調節池の説明をしています。その中で、それ以上降った時にどのような対応をするのかという質問がありました。

(港区 都民委員)

一之橋から、四之橋の調節池がありますが、50ミリ対応なのかどうか。

(河川部)

古川地下調節池は、今、事業中ですが50ミリ対応の整備をしています。

(渋谷区 都民委員)

河川と下水道との連携により内水被害を軽減、これは何か難しくよく解らないですけども、具体的に渋谷川の中でも色々やっているのですか。

(河川部)

具体的には連結管で広域調節池と雨水管と連結すると絵では書いていますが、どこをどうするかというのは今後決めていくようになるかと思えます。

(港区 都民委員)

広域調節池の絵の中でA、B、C、Dと河川がありますが、大体、東京をイメージされているのでしょうか、又、どれ位の広域を考えているのでしょうか。

(河川部)

まだこれからの検討です。

(港区 都民委員)

透水性舗装については、考慮するという事になってはいますが、基本的にアスファルトで固められたことが川に水がたくさん流れる原因になっているのではないかなという気がします。

(河川部)

今、道路を再舗装する時には、透水性舗装を行ったり、或いは大きなビル等を開発する時には貯水槽を設けています。

(座長)

先程の質問もそうですが、やはり数値的なものをもう少し知りたいということだと思います。

(河川部)

今は、大まかな東京都としての方針をだしていますので、今後は、各河川毎に整備計画を作っていきますので、その中で出てくると思います。

(渋谷区 都民委員)

2点お伺いします。一つは、親水性と言いうことと、もう一つは、思いもよらないようなことというのは、ある程度想定されたのかどうか。

(河川部)

河川整備計画では、当然のように河川環境はどうすべきかいうことは書かれております。想定外という話についてはソフト対策、各区でハザードマップを作成、或いは当部で降雨情報の提供、或いは河川水位の情報の提供などを行っています。

(座長)

特に今、防災等は、注目されているので、そういうものに関する整備方針というのができれば、是非この流域連絡会で報告して欲しいと思います。

(渋谷区 行政委員)

スライドで渋谷川、稲荷橋から八幡橋区間の環境整備ということで、現在の検討状況をご説明させていただきます。

本日の説明の内容としましては、①渋谷川環境整備までの流れ、②渋谷川環境整備協議会、③都市地域再生等特別区域の指定と公表、④渋谷川環境整備イメージということです。

(座長)

重要なことだけでも紙資料を渡せばいいと思います。

(座長)

この流域連絡会では、港区の方もいますし、流域全般にできるだけ共通することをやっていきたいと思っていますから。

(港区 都民委員)

その情報の開示については、公表できるようになっている段階になって資料を送って頂きたいと思います。

(港区 都民委員)

私は、港区の麻布十番の一之橋公園の再整備のワークショップに参加していて、賑わいのある橋を作ろうという話になっています。

(座長)

駐輪場も賑わいのその一つです。生活と川を近づけるといふ、非常にいいアイデアだと思います。

(渋谷区 行政委員)

駐輪場にする計画は一切ありません。

(座長)

かなり色々なことをやっているのは解りますが、皆さん期待半分、心配半分だと思います。だから、その絵が少しでも発表出来るような流れになった時にお願いします。

(渋谷区 都民委員)

今のように街の人がこうしたいとか、そばにある川はこうしたいという話であるならば、もう少しグローバルの所で管理してもらって、こういう席では報告と同等の流れの中で言って欲しい。

(座長)

先程、港区の都民委員の言ったことは、違和感はなく、港区の色々な公園は、人がいない状況ですね。駐輪場があるだけでも、人の姿が見えると、それも一歩前進だと思います。それは全情報を共有して、いいものがない形で使えるようにした方がいいと思います。そういう意味でも、渋谷のあそこでやって、こんなにいい方向だということを書いて示してもらいたい。

(座長)

公共の用地を駐輪場に積極的に利用できるということは有り難い言葉です。

(港区 都民委員)

最初の中小河川の話で河川と下水道との連携により水害を軽減するということがありますが、できるのかどうかその辺の仕組みを教えて欲しい。

(河川部)

局地的で短時間の雨であれば対応できると考えています。

(副座長)

道路の路面から流れた水が、下水道の管を通じて川に直接流れ込んでいって、それを、調節池に短時間集中的に溜めてあげて、下水の方に流れるのを減らしてあげるとというのが根本的な考え方です。

(座長)

麻布十番の曲がったところで洪水になりますね。あれはそういう高潮とか関係してないのですか。

(副座長)

逆に上からの水がカーブしている所で狭まり、細くなって、結局水が溢れてしまったということです。

(河川部)

1時間に100ミリ以上の雨が降ったということです。

(座長)

その溢れた部分を下水道の方で対応するとかいう話がありますか。

(副座長)

溢れた部分というのを、逆に言うと、下水道に通じて川に流れ込む部分を途中、地下調節池に溜めてあげるとということです。

(渋谷区 都民委員)

下水の話もいっしょにやらないと解らない。

(副座長)

同じ東京都の中ですから、下水道局と建設局の方で、指摘できることはしていきたいと思っています。

(座長)

それでは取り纏めをしたいと思います。

最初の議題については副座長を位置付けるということについては問題ない。それから、河川環境との防災など次回はお知らせ願いたい。

それから同じ治水にしても、具体的にもうちょっと踏み込んだ情報も教えて欲しいということです。降雨波形に対するもの、透水性舗装の効果はどの位あるのかなどの質問が出ました。

広域の対応というのはどの範囲なのか、次回それについて情報をお願いできたらと思います。

それから、②の渋谷川上流部の事は、結局渋谷の問題だけでなく、港区の街づくりがこれから進んでくる部分もありますから、できるだけ情報を共有したい。

(事務局)

有難うございました。それではこれで、第V期3回目の流域連絡会を終了させて頂きたいと思います。